

今年度の活動を振り返って 津軽白神森林生態系保全センター

当センターは、青森県鮎ヶ沢町に所在し、白神山世界自然遺産地域（青森県側）やその周辺、岩木山、屏風山などをフィールドに森林生態系の保全や適切な利用の推進を図るため、巡視活動や自然再生活動、林業体験や森林教室などを通じた森林環境教育に取り組んでいます。

○白神山世界自然遺産地域の保全管理

遺産地域の自然環境を将来にわたり適正に保全・管理していくため、職員による巡視活動を実施しています。また、当センターが中心となって白神山世界遺産地域連絡会議の構成機関やボランティア巡視員、地元警察、消防署、漁協関係者と共に盗掘などの違法行為の防止や入山マナーの向上等を目的に昨年は7月29日（土）と9月5日（火）に合同



赤石川での巡視活動

パトロールを実施しました。合同パトロールの際は違反は確認できませんでした。環境省巡視員の巡視の際に違法行為が確認されており、今後とも、入山マナーの向上へのご理解とご協力をお願いいたします。

○中・大型哺乳類のモニタリング調査
白神山周辺でもニホンジカが目撃情報が増えており、植生などへの影響が懸念されております。雪解け後、順次センサーカメラを国有林野内に設置し監視を行っております。

5月25日（木）深浦町の国有林内にセンサーカメラを設置し、報道機関に公開しました。今年度は関係機関と調整し遺産地域周辺に130台（当センター担当分30台）設置しました。

11月末頃までにニホンジカを含めた中・大型哺乳類のモニタリング調査を行いました。ニホンジカは、当センターで設置したカメラでは6箇所、9回撮影されました。また、東北森林管理局の委託調査で遺産地域内に設置しているカメラに、核心地域と緩衝地域で1回づつ撮影されました。遺産地域内の核心地域で撮影されたため、白神山地科学委員会に報告し、今後の対応を検討して頂いています。



遺産地域の核心地域で撮影されたシカ
来年度についてもセンサーカメラによるモニタリングと生息情報の収集に努めると共に関係機関と連携の上、ニホンジカ対策を進めることとしています。白神山周辺地域でニホンジカを目撃された場合は、関係機関まで

お知らせ頂きますようお願いいたします。
○試行的なニホンジカ捕獲
平成28年の秋から試行的にニホンジカ捕獲用に簡易囲い罠を深浦町深浦山国有林に1台設置してあります。

世界遺産地域へのニホンジカの入域を排除するの考え方に立ち、今年度は春先から捕獲に取り組むこととしました。4月25日（火）に報道機関に公開し約1ヶ月間、捕獲に取り組みました。その後、9月中旬から12月末まで再稼働させました。今年度はICT技術（情報通信技術）を活用した罠で捕獲を実施しました。このシステムは、檻の中に大型の動物が入るとセンサーが反応し、自動的にゲートが降りる仕組みです。併せて檻の中に入った動物の写真が自動で職場のパソコンやスマートフォンに送信される仕組みです。



ICTを活用した簡易囲い罠



罠の周囲で撮影されたシカ

試行期間中、二ホンジカや他の動物が捕獲されることありませんでしたが、鹿の近くを歩くシカの写真が撮影されています。

○自然再生活動

自然再生活動は、白神山地世界遺産地域周辺のスギ人工林を将来、白神山地本来の植生である広葉樹林に戻すことを目的に実施しています。

これらは「白神山地周辺地域自然再生計画」（平成21年3月策定）に基づき活動しており、NPO等の多様な参加主体による百年単位の息の長い取り組みが行われております。

当センターでは自然再生活動に協力を頂ける一般ボランティアを公募し、7月22日（土）と9月16日（土）に実施する計画でしたが、1回目は低気圧の影響で津軽地方が豪雨になり中止とし、2回目は好天の中実施することが出来ました。



自然再生活動の様子

参加者には、植栽予定地の近隣の広葉樹林からブナやイタヤカエデの稚樹を採取し、スコップを使って植えて頂きました。
その後は、ブナ巨木ふれあいの径を散策し、将来の白神山地の林相を堪能して頂きました。

○林業体験・森林教室

5月27日（土）に今年度第1回目の森林教室を深浦町と共催で開催しました。当日は雨模様の中の散策を懸念していましたが、その後天候が回復し親子



十二湖での森林教室

を含む25名の参加による新緑の十二湖を散策しました。

10月14日（土）に第2回目の森林教室を西目屋村と共催で開催しました。好天の中、津軽峠周辺の「ブナ巨木ふれあいの径」のブナ巨木群に触れ、午後から「奥赤石ブナ遺産

源保護林」を散策しました。この保護林は、日本海型のブナ遺産資源を保存するために設定され、過去に伐採された形跡がなく世界遺産地域内の状態と同様な広葉樹林が広がっており原生林ならではの紅葉の美しい場所です。

9月7日（木）と8日（金）の二日間、当センターと津軽森林管理署は、鰯ヶ沢町内の小学校を対象に林業体験学習（森林教室）を実施しました。この森林教室は林業体験を通じ地元小学生が地域の産業である林業や白神山地世界遺産について理解を深める事を目的に西海小学校5年生、舞戸小学校4年生の児童に対し毎年実施しています。

両日とも天候に恵まれ、午前中は矢倉山国有林においてノコギリを使っての体験林業（下草刈り、枝打ち）と北限の天然



小学生の林業体験

スギを見学。午後からは、白神の森遊山道で職員の説明を受けながら散策を楽しみました。

森林での体験を通じて、林業のこと、自然環境の大切さや、森林と人との関わりを知ってもらいたいと願う森林教室を実施しています。

その他、鰯ヶ沢こども園の要請により「花いっぱい運動」やNPO法人、ボランティア団体等と連携協力した「白神山地周辺地域のクリーンアップ作戦」や「白神山地ビジターセンターふれあいデー」への協賛、ユネスコの育樹活動への支援・協力を行っています。

いずれも白神山地への理解を深め、森林に親しむ機会の提供や木材の利用促進などの普及啓発が行えたものと考えております。

○取り組みの積極的な情報発信

各種取り組みの前にはプレスリリースを積極的に発行と共に、広報誌「白神の絆」を毎月発行し、情報発信に努めています。

また、センターの活動状況をお知らせする、「活動展」を白神山地ビジターセンターや青森県総合社会教育センターで実施しております。

今年度も以下の会場で実施しています。

日時	1月26日（金）～2月25日（日） 午前9時～午後7時
場所	青森県総合社会教育センター 1階アートギャラリー [sha-sei] 青森県青森市荒川字藤戸119-7 TEL0177-739-1252
その他	入場無料

藤里森林生態系保全センター

当センターでは、白神山地世界遺産地域（秋田県側）4,344ha及び周辺地域の貴重な森林生態系の適切な保全と利用を図るため、遺産地域の巡視活動や二ホンジカ対策、森林環境教育等の活動に取り組んでいます。

○白神山地世界遺産地域の巡視活動

今年度の巡視活動は、雪解け後の5月中旬から降雪前までの11月中旬にかけて、岳岱、二ツ森、小岳、藤里駒ヶ岳等の入山者の多い箇所を中心に登山者への入山マナーの注意喚起、標識類の状況確認、樹木の損傷などの違法行為や高山植物の盗掘等の違法行為が行われていないかな等を巡視を行いました。

白神山地世界遺産地域連絡会議主催による合同パトロールについては、第1回目を7月22日（土）に入山者の多い二ツ森と小岳を予定していましたが、雨のため中止となったことから、第2回目の9月23日（土）に巡視員や県、八峰町、藤里町、環境省等総勢29名の参加を得、同コースを実施しました。二ツ森コース、小岳コース共に登山者へのマナーパンフレットの配布や盗掘等の禁止行為の確認、ゴミの回収を行いました。このように良好な状態で利用されているのも巡視員や関係機関の方々の日頃からの取り組みのおかげかと思えます。引き続き来年度もご協力の程よろしくお願いたします。



第2回合同パトロール（小岳コース）



第2回合同パトロール（二ツ森コース）

○白神山地世界遺産地域巡視員会議

6月3日（土）に、平成29年度第1回白神山地世界遺産



第1回巡視員会議

とし、協力依頼がありました。巡視員からは最近問題となっているイノシシやツキノワグマについての質問も多く出されていました。

12月16日（土）に、第2回目の巡視員会議が藤里町総合開発センターで開催され、巡視員、関係機関の総勢38名が参加し、今年度の事業実績の報告の他、増加している二ホンジカの目撃情報を共有しました。環境省からは二ホンジカの越冬調査や忍び猟、流し猟による試験捕獲を地元猟友会と1月～3月までの間に実施することを報告されました。



第2回巡視員会議
「フィールドサイン講習会」

午後からは、環境省による二ホンジカフィールドサイン講習会を実施し、痕跡を探すための足跡の見分け方や、糞や食痕の判別方法などシカの侵入把握をすることについて共通認識を図りました。巡視員からも活発な質問が飛び交い、白神山地を二ホンジカから守る熱意と意気込みが伝わってきました。

○二ホンジカ対策

白神山地世界遺産地域及び周辺地域における二ホンジカ対策として、環境省と連携し134台（昨年度113台）の監視カメラを設置しました。その内、当センターは昨年より早い4月17日から秋田側に26台設置し、定期的にデー

タの回収等を行いながら降雪前の11月19日までに25頭（昨年度10頭）の二ホンジカを撮影しました。

また、昨年から取り組んでいる小型囲いわな1台をシカの餌となる草が少ない春期と秋期、初冬までの年2回、昨年度にシカの撮影回数が多かった八峰町の小入川地区に設置し捕獲に向けた対策を行いました。

取り組みの結果については、ワナの直ぐそばでシカが撮影され捕獲まであと二歩かと思われましたが残念ながら捕獲には至りませんでした。今年度の反省を活かしつつ、来年度も二ホンジカ対策に引き続き取り組んで参ります。



囲いわな設置初日の取材



八峰町小入川で撮影された二ホンジカ

○白神山地世界遺産地域周辺での自然観察会

自然観察会は一般の方を対象として「白神森林講座」を、公募により選定された一般社団法人 秋田白神コミュニティセンターとの共催で実施しました。

実施内容は、
第1回・・・6月17日（土）「山女と登る世界遺産の山」と題して、小岳周辺の自然観察会

第2回・・・7月8日（土）「アジカメ・スマホで撮る風景写真講座」と題して、田苗代湿原の二ツコウキスゲ等の自然観察と藤里駒ヶ岳の登山

第3回・・・10月14日（土）「神秘の山の天然杉と日本の杉」と題して、きみまち阪立自然公園の散策と秋田天然杉の七座山登山の計3回行われました。

これからも、より多くの方々に白神山地の多彩な魅力を伝えて参ります。



第1回講座



第2回講座



第3回講座

○森林環境教育等

6月1日(木)、7日(水)に藤里幼稚園年長児15名が、自然を感じ大切にしようとする心を育てることを目的として、「ぶなの森探検」を実施しました。

1日目は事前学習として白神山地世界遺産センターの展示施設を利用し、白神山地の四季の様子や動物や昆虫、岳岱の400年ブナ、山での安全教育について事前学習しました。



藤里幼稚園「ぶなの森探検」

2日目の岳岱自然観察教育の探検では、新緑のブナ林で「400年ブナ」を間近に観察しその大きさに驚いたり、モリアオガエルやクロサシヨウウオの卵を実際に触れ観察するなど五感をフルに使った学習は園児たちに印象深いものようでした。園児たちは最後に今日体験したことをお父さんやお母さんにも教えたいと話していました。



二ツ井高校「自然観察会」

6月23日(金)、秋田県立二ツ井高等学校1年生19名が、白神プロジェクト活動の一環としてスギのコンテナ苗とブナのポット苗の植樹と白神山地の自然観察会を実施しました。同プロジェクトは世界遺産白神山地の魅力を伝える

ことが出来る人材になることを目的に毎年実施しているもので、NPO法人 あきた白神の森倶楽部と一緒活動しているものです。当センターも二ツ井高校に協力し植樹指導や岳岱自然観察教育林で自然散策の案内役を行いました。

生徒は、この取組みを通じて地域の林業や森林の仕組み、世界遺産白神山地の魅力について理解を深めました。

8月31日(木)、獨協大学経済学部国際環境経済学科3年生21名が岳岱自然観察教育林でボランティア活動を実施し、当センター職員が現地指導しました。獨協大学ではエコツーリズムによる持続可能な地域づくりを学ぶため、昨年白神山地での合宿を藤里町で開催していま



獨協大学ボランティア活動(パワーあふれる学生たち)

す。今年はエコツーリズムだけではなく、ボランティア活動を行い白神山地の保全活動にも携わりたいとのこと、林内歩道へのウッドチップの散布と外来植物の除去を行いました。最後に学生から「白神山地で貴重な体験が出来ました」との感想をいただきました。

9月12日(火)、大館市立早口小学校5年生17名に森林環境教育の一環として森林教室を行いました。当日はあいにくの雨となり岳岱自然観察教育林での自然観察会が中止となったため、当センターの研修棟で白神山地世界遺産についての学習と、木工体験を行いました。午後から



早口小学校「森林教室」

から天気が一時的に回復したことから藤里町の名勝「峨羅の滝」を見学し森林が育む水の豊かさを肌で感じました。また、当センターの敷地内にある樹木を利用しブナの葉の特徴や樹幹流の様子など興味深く観察していました。

○地域との連携

6月11日(日)、「あきた白神まつり」が秋田県主催、

八峰町、藤里町、東北地方環境事務所、東北森林管理局他の協力で八峰町御所の台ふれあいパーク(あきた白神駅)で開催されました。当センターは里山のブナの森「留山」でトレッキングをサポートし、八峰町白神ガイドの会の案内でブナ林を散策しました。「留山」は藩政時代に地域の自然を守るための伐採を規制した山で、そのため樹齢30年以上のブナやミズナラの巨木が生い茂り手軽に世界遺産の森と同じ体験が出来る人気の高いスポットです。トレッキングは午前と午後の2回行われ、参加者からは、



あきた白神まつり「留山トレッキング」

「こんなに近場に良い山があることを初めて知った。とても気持ちよくトレッキングが出来た」と大好評でした。帰りには「みこしの滝浴び」やCMでも有名になった白瀑神社の滝を見学するお楽しみもあり、楽しい1日を過ごすことが出来ました。

10月28日(土)、29日(日)に藤里町民祭が藤里町民体育館で開催され、多くの町民が訪れました。当センターでは、活動写真パネルや二ホンジカ監視カメラで撮影された動物写真を展示するなど、当センターの取り組みを多くの町民の方に知っていただくことが出来ました。



藤里町民祭「リース作り」

また、木工教室では、リース作り、木工クラフト作り、木製名札作りを行い、家族連れを中心に多くの方に楽しんでいただくことが出来ました。特に今年初めて行ったリース作りでは、数量限定だったものの幅広い年代の女性を引きつけ体験していただくことが出来ました。

今年度の主な活動を紹介しましたが、今後も巡視活動や普及・啓発などにより白神山地世界遺産地域の適切な安全管理に努めるほか、白神山地の豊かな自然を多くの子供たちにも将来にわたって引き継いでもらえるよう、地域の方々と共に取組んで参ります。